

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

情報デザイン		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教705		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【専門教科情報の目標】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報産業を通じ、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【情報デザインの目標】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報デザインの構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【情報デザインの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 情報デザインの役割と対象 ア 社会における情報デザインの役割 イ 情報デザインの対象	(1) のアについては、具体的な事例を取り上げ、社会において情報デザインが果たす役割について扱うこと。イについては、情報伝達やコミュニケーションの仕組みとそこで使われるコンテンツを扱うこと。
(2) 情報デザインの要素と構成 ア 情報デザインにおける表現の要素 イ 表現手法と心理に与える影響 ウ 対象の観察と表現 エ 情報伝達やコミュニケーションの演出	(2) のアについては、形態や色彩とその働きについて扱うこと。イについては、造形や色彩が人間の心理に与える影響と、情報デザインへの応用について扱うこと。ウについては、対象を観察する方法と、その結果を表現する技術について扱うこと。エについては、レイアウトや配色などを扱うとともに、意味や考えの演出についても触れること。
(3) 情報デザインの構築 ア 情報の収集と検討 イ コンセプトの立案 ウ 情報の構造化と表現	(3) のイについては、目的を明確にしてコンセプトを決める方法を扱うこと。ウについては、コンセプトに沿った情報の構造化と表現を扱うこと。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(4) 情報デザインの活用 ア 情報産業における情報デザインの役割 イ ビジュアルデザイン ウ インタラクティブメディアのデザイン	(4) のアについては、製品やサービスの普及、操作性やセキュリティの確保において情報デザインが果たす役割について扱うこと。イについては、視覚情報の提供について考慮したデザインを扱うこと。ウについては、双方向性について考慮したデザインを扱うこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第7節第3款1(1)
b 情報の収集、整理、構造化、可視化や解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動の充実	学習指導要領第3章第7節第2款第9 3(1)
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、教科の目標に結び付けた資質・能力を育成できるか見取る。
- b 情報の収集、整理、構造化、可視化や解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動の充実
 - ・ 実習を通して、情報の収集、整理、構造化、可視化などの学習活動を行わせるとともに、地域や社会における情報伝達やコミュニケーションに関する具体的な課題を設定し、解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動の設定について見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」が言及されているので、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的な調査をする。
- b 実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して育む資質・能力の育成
 - ・ 学習指導要領の中に、「実習を通して、情報の収集、整理、構造化、可視化などの学習活動を行わせるとともに、地域や社会における情報伝達やコミュニケーションに関する具体的な課題を設定し、解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動を取り入れること」が言及されているので、このような学習活動が設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。

- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	専門教科情報
科目名	情報デザイン

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	情報705◆
教科書名	情報デザイン
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【情報デザインの役割と対象】	<ul style="list-style-type: none"> 身近なモノやコトから解決すべき問題点を見付け、解決策を考えるなどの活動を通して、情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うように工夫されている。 身のまわりのデザインを観察し、そのデザインの目的を考察するなどの活動を通して、情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザーインターフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うように工夫されている。
【情報デザインの要素と構成】	<ul style="list-style-type: none"> 白い紙で作った形を様々な色の上に配置し、見やすさを試すなどの活動を通して、情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるように工夫されている。
【情報デザインの構築】	<ul style="list-style-type: none"> 様々なデザインの対象や実際の製品やサービスについての5W1Hを考えて課題を見つけ出すなどの活動を通して、情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うように工夫されている。 様々なデザインのコンセプトについてブレインストーミングでアイデアを出し合うなどの活動を通して、情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザーインターフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うように工夫されている。
【情報デザインの活用】	<ul style="list-style-type: none"> 身近な問題についてデータを集め、インフォグラフィックスで表現するなどの活動を通して、情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うように工夫されている。 Webページなどのインタラクティブメディアのデザインをワイヤフレームワークにするなどの活動を通して、情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるように工夫されている。
b 情報の収集、整理、構造化、可視化や解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動の設定	
<p>実習を通して、情報の収集、整理、構造化、可視化などの学習活動を行わせるとともに、地域や社会における情報伝達やコミュニケーションに関する具体的な課題を設定し、解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツを企画立案し、制作したサイトをクラスで公開・評価する実習として「クラスのWebサイトをデザインしてみよう」など、地域や社会における情報伝達やコミュニケーションに関する具体的な課題を設定し、解決の手段を作品として制作、評価及び改善する学習活動を設定している場面が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「造形と心理」の「反復と変化」で、燕子花図屏風が紹介されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「表現への過程」の「表現の模索」で、避難誘導シンボルデザインが紹介されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「何かを伝えるデザイン」の「情報デザインの歴史」等で、東京オリンピックの競技ピクトグラムが紹介されている。 「コミュニケーションの演出」の「印象的に伝える」で、東京オリンピックのポスターが紹介されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習項目に関連した動画やサイトへのリンクなど、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。